

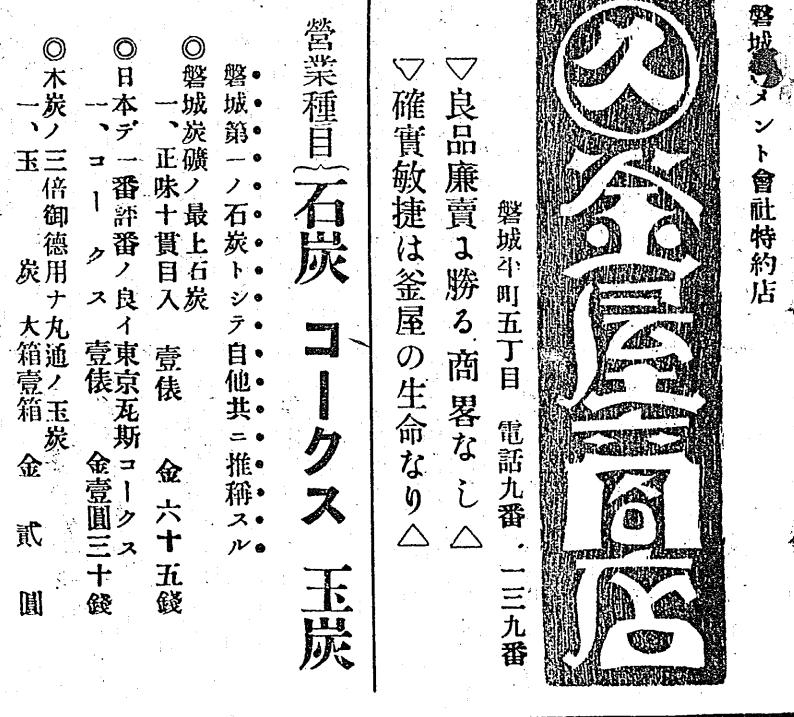
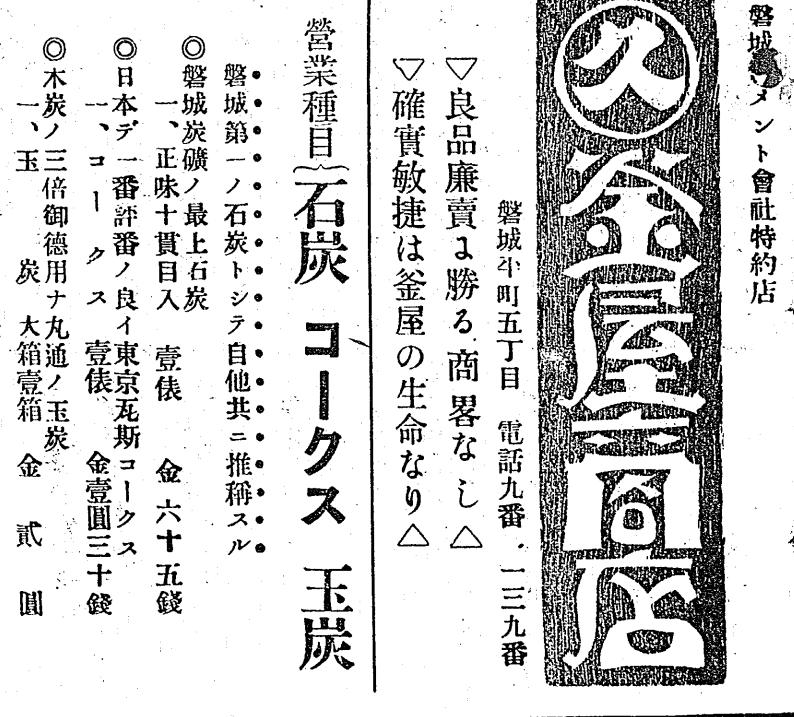
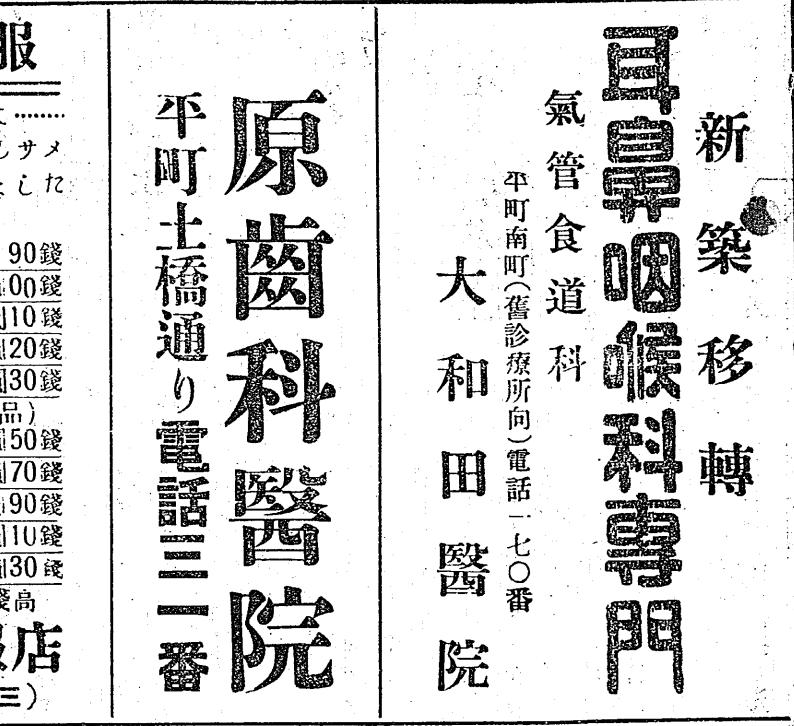
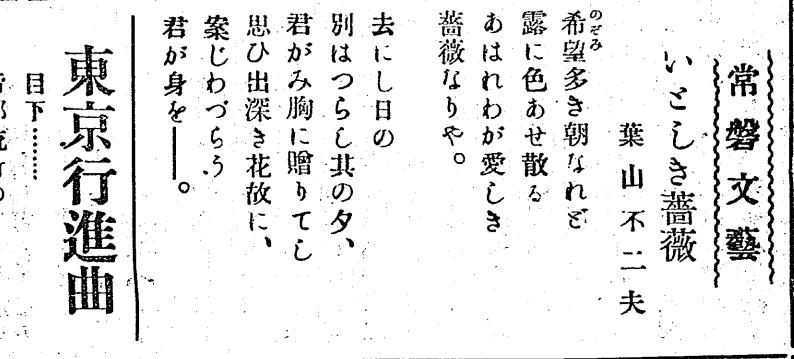
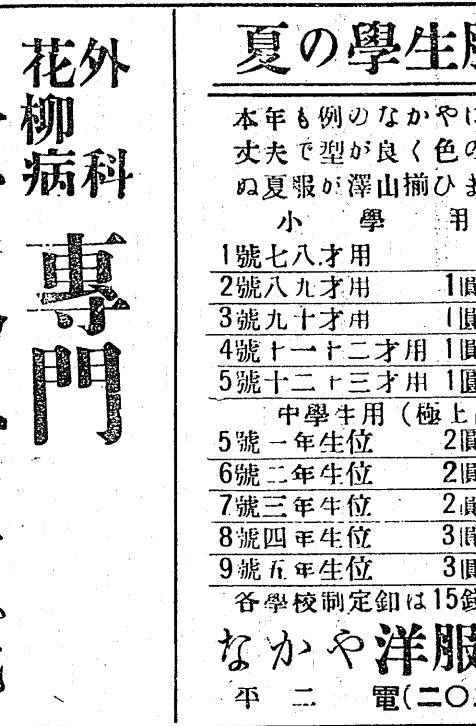
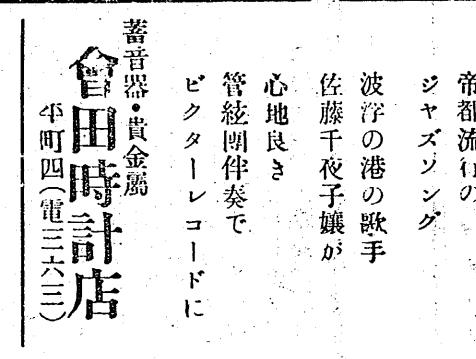
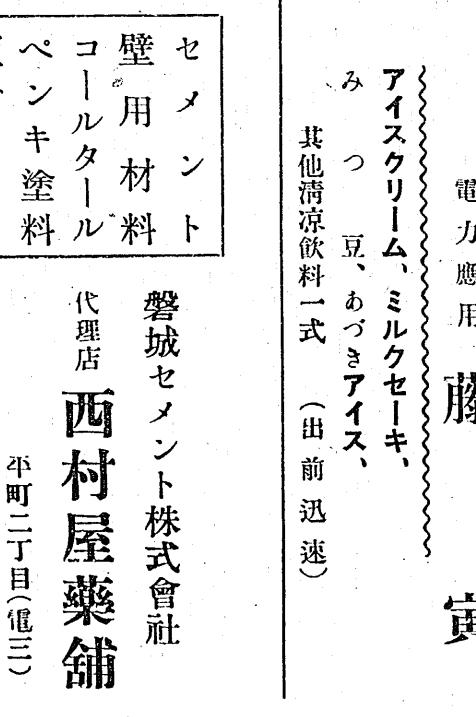
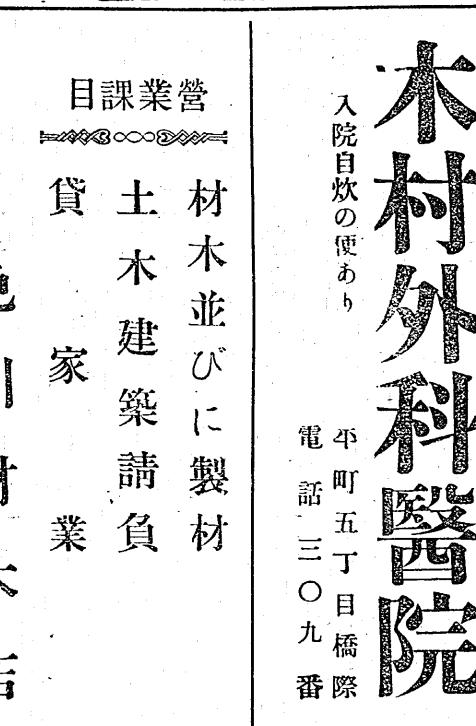


刊日二月六

漢學先生
(一)
文學博士遠藤隆吉
寄書
支那の文章は簡潔である、
四角の文字の行列であるか
ら勢ひ簡潔ならざるを得ない
のである、特に漆で書いた
が爲に、書くことそれ
自身が困難であるから之を
簡潔にしない譯に行かない
のである。古代に遡るに從
つて簡潔である、而して口
調が良い。それこそ眞に一
字苟もせざる云ふ状態で
ある、子夏の徒一字を贊す
る能はず、と云ふ位のもの

にあるであるからして後世
の文章家でも虚字を下すのは
恰も金玉を投するが如く
せよといふて、餘程惜しん
るものである。何でも簡潔
を主とする所が西洋の書物
は初めよりして長いバイブル
の或物は二千四五百年前
いたと言ふことか一つの原
因であつたらうと思はれる
はペンを以て、ビルスに書
いたと言ふことか一つの原
因であつたらうと思はれる
即ちバビルスならば漆で竹
に書くよりも餘程書き宜い
に違ひない、即ち漆で書け
ば文字が大きいけれどもべ
ンでバビルスに書けば小さ
く出来る小さく出来れば多

ての
なる、多數書けると云ふこ
とが即ち細かに書くと云ふ
一つの原因であつたらうと
思ふ。又其の外の方面から
言へば支那の文字は其の淵
源に於て發音を示めずもの
ではない、物象を示すもの
である。例へば太陽を示す
に○を以てした、而して之
を「じつ」と呼んで居つたの
であるじつは音である、若
し音を示したらば支那人の
話通りに書いたらうと思は
れる



平穏無事な初町會

戸數割審議も委員の手に

一昨報の續き

昨報選舉異議申立を七名の委員附托に決して後「昭和四年度特別戸數割賦課額」の審議に入り伏見町長の議案説明があり、大森勇氏が見立割の根據を質したるに對し遠藤助役は見立の基礎的説明は困難であると答へ更に大森氏起立

所得の申告が正確でないとの見地から見立割に依つて加減するものと思はれるが子供の養育は個人の子供を養育するのではなく國家の子供を養育するのであるから控除額の申請がある無しに拘らず課税は相當に參照され度

所長の申告が正確でないとの見地から見立割に依つて加減するものと思はれるが子供の養育は個人の子供を養育するのではなく國家の子供を養育するのであるから控除額の申請がある無しに拘らず課税は相當に參照され度

選舉異議申立

果して無効か

▼町會議員選舉異議申立書

昨報平町會に於て議論沸騰遂に七名の委員附托となつた選舉異議に關する金子、鈴木兩君の申立書は左記の如くである

不景氣の爲めから 所得額七萬五千減

従つて賦課率が上る

昨日平町會に提案された本年度戸數割の前期賦課額は四萬七千七百六十五圓で此の内訳は所得額に依る算定額を十分の六に見積つて二萬八千六百五十九圓、資産状況に依る算定額は四で一萬九千六百圓あり所得額に對する賦課率は所得額一圓に付き一錢一厘八毛八に當つて居る尙ほ賦課人員は四千六百卅四人、所得額二百五十六萬二千八百十圓であつて前年に比較す

殆ど無盡藏

高坂坑の斜坑

内郷村磐城炭礦では數年前より高坂坑の下に斜坑を試掘中であつたがこの程漸く

着底し本年度下半期より

大規模に掘を開始

と戸數が十六戸の減を見且つ所得額も七萬千四百十四圓の減少である爲め賦課率は所得額に付さ三毛四の増加を示して居る埋藏量は

鷹崎氏逝く

大學病院にて

するこになつた今日までの調査によると附近の埋藏炭量は殆ど無盡藏と稱されて居り關係方面より多大の注目を惹いてゐる

病に襲はる

柳下町議が

肇寺に埋葬する由

の調査によると附近の埋藏炭量は殆ど無盡藏と稱されて居り關係方面より多大の注目を惹いてゐる

初夏なら 麥藁帽子に

象牙のバイブ

宵の散歩へ

「デリケート」麥藁帽子

細身のステッキ

いからよした方がいい

日明豫天

西の風大
体晴れ或
ひは驟雨大
あらん

に轉居坂上仲衛は本年四月に選舉權を附與し左記應崎正見、諫訪喜一、佐藤大次郎、鯨岡七郎、藤岡齋記、坂上仲衛の選舉權を拒絶し

たることは甚だ矛盾にして

手續上の失當たるは勿論町

申立候也

。立證

申立候也

三名の過超

申立人 鈴木庫左右

石城郡好間村々會議員選舉は來る廿七日執行されるが既に左記廿一名の立候補が出て定員十八名に對し三名の超過を見てゐるが、炭礦地だけに無產派の出馬もあり激戦を豫想されてゐる

強口唯七郎、高木源治、木久吉、鈴木廣治、鈴木精平、猪狩貞一、神谷兼次郎、高木米吉、木田安寿、大半新吉、志賀長太郎、大半新吉、吉田丑次郎、鈴木叶多清、吉田丑次郎、鈴木根本丑之助、稻葉廣吉、佐藤千代松、清水眞澄

に轉居坂上仲衛は本年四月に選舉權を附與し左記應崎正見、諫訪喜一、佐藤大次郎、鯨岡七郎、藤岡齋記、坂上仲衛の選舉權を拒絶し

たことは甚だ矛盾にして

手續上の失當たるは勿論町

申立候也

三名の過超

申立人 鈴木庫左右

に轉居坂上仲衛は本年四月に選舉權を附與し左記應崎正見、諫訪喜一、佐藤大次郎、鯨岡七郎、藤岡齋記、坂上仲衛の選舉權を拒絶し

たことは甚だ矛盾にして

手續上の失當たるは勿論町

申立候也

三名の過超

申立人 鈴木庫左右

に轉居坂上仲衛は本年四月に選舉權を附與し左記應崎正見、諫訪喜一、佐藤大次郎、鯨岡七郎、藤岡齋記、坂上仲衛の選舉權を拒絶し

たことは甚だ矛盾にして

手續上の失當たるは勿論町

申立候也

三名の過超

申立人 鈴木庫左右

に轉居坂上仲衛は本年四月に選舉權を附與し左記應崎正見、諫訪喜一、佐藤大次郎、鯨岡七郎、藤岡齋記、坂上仲衛の選舉權を拒絶し

たことは甚だ矛盾にして

手續上の失當たるは勿論町

申立候也

三名の過超

申立人 鈴木庫左右